

## 市原市認知症対策連絡協議会 第23回例会 議事録

日時 2021年1月28日(木) 18:30~20:00

場所 Zoomを使った例会

出席者 パソコン 30台 総参加者 27名

書記 飯吉

### 内 容

#### 1) 各事業所の状況(コロナ禍において:面談、感染症対策等々)

##### ろうさい病院(小沢先生)

コロナウイルス感染症の患者さんが20名程度入院。

循環器病センターとろうさい病院で担当している。

コロナウイルス感染症の感染の勢いが増すと医療崩壊になってしまいそうである。

コロナウイルス感染症用の病床を増やす予定ではあるが、最大で40床程度ではないか。

コロナウイルス感染症用の病床増により一般病床数が減るので普通の病気の方の対応が困難である。

院内感染は無い。

##### 鶴岡病院(藤盛氏)

大きな変化はない。

新規入院患者さんにはPCR検査を行っている。

年末にスタッフの陽性者が4名発生。

それが落ち着くまでは新規の患者さんの受け入れを停止していた。

令和3年1月4日より平常通りの外来を行っている。

病棟間で感染対策を行っている。

年末年始頃は一時的に退院を延期していた。

##### 白金整形外科病院(袴田氏)

患者さん(一般の)が少しずつ増えてきた。

現在のところさらしな病院は面会を行っていない。

面会に関しては白金整形外科病院・さらしな病院共に行っていない。

家族指導に関しては、必要最低限で行っている。

大きな変化はない。

##### 包括支援センターこくぶんじだい(宮崎氏)

相談は増えている

認知症の相談が多い。

##### かとれあ笑会(大塚氏)

感染対策しながらほぼ通常通り。

##### 株式会社 住まいあんしんクラブ

はじめて参加です。

時間を問わずご協力させて頂きたい(法律等の手続等)。

## 2) ミニ講演会 : 「最近の話題 アデュカヌマブ」(小沢先生; ろうさい病院)

アミロイド仮説:  $\beta$ アミロイドの沈着が認知症の引き金になる。

そのため $\beta$ アミロイドが脳内に沈着しなければ良いのではないかという発想で開発された薬物である。

今回の治験で「アデュカヌマブ」はアミロイドプラーク沈着の減少に統計学上優位な抑制を示した。

しかしながら、過去の他社の同様な薬物の治験は失敗に終わり、中には悪化するケースもあった。

また、 $\beta$ アミロイドが沈着してから実際の臨床症状が生じるまでにかかなりの時間がかかり、投薬の対象となるケースの選択も課題である。

現実的に考えられるのは現在発症していない「家族性アルツハイマー型認知症(欧米では家族性の報告もある)」や「ApoE4 蛋白の異常者」である。

このような方々を対象にするのであるが、1回100万円の投薬を月に1回のペースで行い、合計18か月の治療期間を設けるが現実的かどうかの課題がある。

であるから、早期の正確な診断が必要で、アミロイドPETの活用や骨髄検査を試みることになる。

さらに当然のことながら認知症のすべてはアルツハイマー型認知症ではなく、認知症の患者すべてにアミロイド $\beta$ が沈着しているわけではないため今後の治療対象の選択は大きな課題である。

その他「ドナメナブ」なども今後第3相の臨床試験に入る予定である。

## 3) Zoom 講座(矢部氏 ; 市原地域リハビリテーション広域支援センター)

広域支援センターは地域リハビリテーションの立場から地域の中で協力し合ってきたがコロナ感染症予防のため現在のところそのような活動の色々な場面に障害が生じている。

コロナ感染症予防の対策として最近では「リモート傾聴」、「リモート見守り」、「認知症サポート養成講座」等をZoomで行うことが多くなっているが、このような現実をふまえるとZoomを使えないと地域の中でコミュニケーションを取りずらくなったり、地域での活動を行うことが難しくなってしまうという雰囲気も感じられる。

しかしながら、「いまさらちょっと人に聞けないよ」、「ズームで講義をするにはどうするの?」といった悩みを耳にする機会も多く、そのような入門講座の開催を求める声は多いようです。

そこで今回は簡単なZoomのできることのデモンストレーションを行う機会を設けました。

### Zoomを行うためのハード面の環境

- 15Mbps 程度の通信回線。
- 用途に合わせたスピーカーやマイク(スピーカーフォン、ヘッドセット、卓上ライト等)
- メディアストリーミング端末(スマホの画像をテレビに)
- ペンタブレット(画面の情報共有を行う時に字や絵がかきやすい)

パソコンを使えばZoomに搭載されているすべての機能が使えますが、モバイル端末だと出来ることと出来ないことがある。今回デモンストレーションで行う「ブレイクアウトルーム」の指示はパソコンからのみ可能です。

そのため、ホストを担当する方はパソコンを用いた方が良いでしょう。

#### Zoom 行う時のマナー

- 入室したらミュートにしよう（話が筒抜けで講師の方より目立っちゃいます）。
- ハウリングに注意しよう（スピーカーとマイクが近いとピーピーという雑音がでます）。
- 参加者が多い時はビデオオフにすると安定してつながります。
- リアクションをしましょう（講師が一人でしゃべっている感じになるので寂しいです）。

#### その他

- チャット機能を試しましょう。
- ブレイクアウトルームを行ってプロジェクトのお話しあい等を試しましょう。
- 投稿機能もありますので時間があれば試しましょう。
- 画面共有も時間があれば試しましょう。

#### 4) その他インフォメーション

##### 認知症あんしんフェスタ（佐藤氏 ; 市原市役所）

- 現在のコロナ禍ではなかなか先の見通しが立たず、今回は中止となっています。
- 今後、Zoom も用いた相談会や動画作成によるコンテンツの配信等を検討してる。
- 上記のような企画はしているがパソコン操作等の技術的なことが障害にならないようにしていきたいと思っている。